

レジリエンス研究教育推進コンソーシアム第16回運営委員会議事次第

- 1 日 時 令和6年3月6日(水) 13時30分～14時30分
- 2 場 所 オンライン (Zoom)
- 3 出席者 出席者名簿 (p.3) のとおり
- 4 議 事

I. レジリエンス研究教育推進コンソーシアムに係る事案

【審議事項】

- (1) 令和6年度年間活動計画(案)について……………資料1
- (2) コンソーシアムと筑波大生の交流企画について……………資料2
- (3) その他

【報告事項】

- (1) 巨大災害研究会・R2EC 合同シンポジウム開催報告……………資料 3-1~2
- (2) JST 共創の場形成支援プログラム本格型昇格審査結果について
- (3) 第25回幹事会(R5.12.11)について……………資料4
- (4) 第26回幹事会(R6.3.4)について……………資料5
- (5) その他

II. 筑波大学リスク・レジリエンス工学学位プログラムに係る事案

【報告事項】

- (1) 令和6年度協働大学院教員及び非常勤講師について……………資料 6-1~2
- (2) その他
 - ・学位プログラムオープンキャンパスの開催について(4月21日)……………資料7
 - ・令和5年度博士前後期課程入試・修了者報告(参画機関関係)

(配付資料)

出席者名簿……………	p.3
資料1 令和6年度年間活動計画(案)……………	p.5
資料2 コンソーシアムと筑波大生の交流企画について……………	p.6
資料3-1 巨大災害研究会・R2EC 合同シンポジウム申込状況について……………	p.7
資料3-2 巨大災害研究会・R2EC 合同シンポジウムチラシ……………	p.8
資料4 第25回幹事会議事要旨……………	p.9
資料5 第26回幹事会議事次第……………	p.11
資料6-1 令和6年度リスク・レジリエンス工学学位プログラム協働大学院教員一覧……………	p.12
資料6-2 令和6年度リスク・レジリエンス工学学位プログラム非常勤講師一覧……………	p.13
資料7 リスク・レジリエンス工学学位プログラム オープンキャンパスポスター……………	p.14

レジリエンス研究教育推進コンソーシアム第16回運営委員会 出席者名簿

(敬称略)

機関	委員	出欠	委員代理	出欠	陪席者	出欠
セコム	IS研究所 リスクマネジメントグループ グループリーダー 甘利 康文	出席			IS研究所 企画グループ 主務 小松原 康弘	出席
日本電気	セキュアシステムプラットフォーム 研究所 主任研究員 柳生 智彦	出席				
東急プロパティマネジメント	BC研究センター センター長 狩矢 淳雅	欠席	BC研究センター 次長 松本 幸一	出席	BC研究センター 部長 伊藤 和憲	出席
NTT宇宙環境エネルギー研究所	企画部 部長 秋山 一也	出席			レジリエント環境適応研究プロジェクト 主任研究員 小山 晃	出席
東京海上日動火災保険	アドバイザー 林 春男	出席			dX推進部 BD室 柴崎 紘基	出席
東急総合研究所	研究部 主任研究員 真城 源学	出席			主任研究員 市村 健一	欠席
DRIジャパン	理事長 長瀬 貫隆	欠席				
電力中央研究所	企画グループ 研究管理担当 スタッフ 上席 星川 英	欠席	企画グループ 主任 舟橋 卓	出席	グリッドイノベーション研究本部ENIC研究部門 上席研究員 山本 博巳	出席
日本自動車研究所	自動走行研究部 主任研究員 安部 原也	出席				
電子航法研究所	航空交通管理領域 領域長 福島 幸子	出席				
産業技術総合研究所	安全科学研究部門 研究部門長 玄地 裕	出席			エネルギー・環境領域研究企画室 企画主幹 頭土 泰之	出席
防災科学技術研究所	理事長 寶 馨	出席			企画部 部長 松室 寛治	出席
					企画部 次長 松本 拓巳	出席
					企画部研究推進課 課長 倉谷 定秋	欠席
					企画部研究推進課 係員 菊池 文太	欠席
労働安全衛生総合研究所	機械システム安全研究グループ 部長代理 山際 謙太	出席			機械システム安全研究グループ 上席研究員 岡部 康平	出席
國家災害防救科技中心 (NCDR) (台湾)	Secretary General Wei-Sen Li	出席				
筑波大学	システム情報系 教授 理工情報生命学術院システム情報工学研究群長 遠藤 靖典	出席			システム情報エリア支援室 室長 大貫 康司	出席
	システム情報系 教授 リスク・レジリエンス工学学位プログラムリーダー 岡島 敬一	出席			システム情報エリア支援室 主幹 増田 正裕	出席
					システム情報エリア支援室 大学院教務 係長 栗原 宏太	出席
	システム情報エリア支援室 専門員 (コーディネーター) レジリエンス研究教育推進コンソーシアム事務局 局長 石濱 悟	出席			事務局 システム情報エリア支援室 大学院教務 係員 酒井 美和	出席
				事務局 システム情報エリア支援室UEA 根本 美南	出席	

レジリエンス研究教育推進コンソーシアム 令和6年度年間活動計画(案)

	コンソーシアム関連				学位プログラム関連	
	総会・運営委員会	幹事会	シンポジウム	その他	入試	その他
令和6年4月		第27回幹事会 4月22日(月) 13:30-14:30 オンライン		筑波大生との交流会(仮) 企画内容・日時・場所未定 ※参画機関との調整により 決定	募集要項公表(Web) (4月下旬)	オープンキャンパス 4月21日(日)
5月	第7回総会 &参画機関見学会 5月27日(月) 14:00-17:00 東京海上日動(千代田区 大手町)					
6月						
7月		第28回幹事会 7月24日(水) 13:30-14:30 オンライン				7月実施 前期課程入試(推薦) 7月実施 後期課程入試(一般・社会人) ※R6年10月入学
8月						8月実施 前期課程入試(一般・社会人) 8月実施 後期課程入試(一般・社会人)
9月						
10月		第29回幹事会 シンポジウムと同日に 開催予定	単独開催シンポジウム 10月18日(金) 13:00-17:00 東京地区(場所未定)			
11月	第17回運営委員会 &参画機関見学会 (日時・場所未定)					
12月						
令和7年1月						1-2月実施 前期課程入試(一般・社会人) 1-2月実施 後期課程入試(一般・社会人)
2月		第30回幹事会 2月10日(月) 13:30-14:30 オンライン	合同開催シンポジウム (日時・場所未定)			
3月	第18回運営委員会 &参画機関見学会 (日時・場所未定)					

※総会・運営委員会未開催機関(R6.3.6現在): 日本電気株式会社、東急プロパティマネジメント、東急総合研究所、DRIジャパン、電力中央研究所、電子航法研究所、労働安全衛生総合研究所

コンソーシアムと筑波大生の交流企画について

■開催趣旨

リスク・レジリエンス工学学位プログラムは、産学 16 機関が参加するレジリエンス研究教育推進コンソーシアムを運営母体とする協働大学院方式を採用している。

この機能を利点とした活動を今後さらに充実させる必要がある。その一つとして、2022 年度に「ピッチ会」を実施したが、次年度は、コンソーシアム参画機関と筑波大学の優秀な学生の交流の場(就職や共同研究)を意図した取組みの開催を検討したい。

■就職や共同研究を意図した取組みの主な例

- ① 学生の研究発表
- ② 参画機関の研究発表
- ③ 参画機関の就職説明会
- ④ 参画機関と学生との交流会
- ⑤ 学生の参画機関見学、またはインターンシップ
- ⑥ その他

■実施時期

- ① 6～7 月
- ② 10～12 月
- ③ その他

※取組みによって、機関の実施日が異なる場合あり

巨大災害研究会・R2EC 合同シンポジウム申込状況について

「巨大災害研究会・R2EC 合同シンポジウム（2024年3月4日開催）」の申込状況を下記のとおりご報告いたします。

記

総申込者数（3月2日17時現在）：280名

（内訳）

【参加会場別】

- ・東京会場　：43名（15.3%）
- ・大阪会場　：13名（4.6%）
- ・オンライン：224名（80.0%）

【所属業界別】

- ・民間企業　　：142名（50.7%）　東京17名、大阪5名、オンライン120名
- ・教育機関　　：36名（12.9%）　東京13名、大阪4名、オンライン19名
- ・研究機関　　：18名（6.4%）　東京2名、オンライン16名
- ・官公庁・自治体：18名（6.4%）　東京2名、大阪1名、オンライン15名
- ・その他　　　：66名（23.6%）　東京9名、大阪3名、オンライン54名
（自主防災組織、防災士、報道機関、NPO、NGOほか）

【R2EC 参画機関別】 ※登壇者を除く

- ・セコム　　　　　　　　　3名（東京2名、大阪1名）
- ・NTT 宇宙環境エネルギー研究所　1名（東京）
- ・東京海上日動火災保険　　　2名（東京）
- ・東急総合研究所　　　　　1名（東京）
- ・防災科学技術研究所　　　8名（東京2名、オンライン6名）
- ・筑波大学　　　　　　　　17名（東京11名、オンライン6名）
- ・総数　　　　　　　　　　32名（東京19名、大阪1名、オンライン12名）

※プログラム詳細は別紙のとおり

以上

レジリエントな DX社会をつくる

—災害・防災の最前線—

2024
3/4月
14:00 ~ 17:00
〈参加無料〉

東京会場 筑波大学東京キャンパス文京校舎 120 講義室
〒112-0012 東京都文京区大塚 3-29-1

大阪会場 TKP 新大阪ビジネスセンター ホール 3A
〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島 5-13-9

東京会場・大阪会場・
Zoom ウェビナーによる
ハイブリッド形式で開催

DX (デジタル・トランスフォーメーション) とは、様々なデジタル技術を活用しながら、私たちの社会や生活をより良いものへ変えていこうとする考えです。この考え方は、レジリエントな社会を作るための防災技術や災害対応の現場でも取り入れられています。今回は、企業および研究者の立場から、DXを使ってどのような変革を進めようとしているのかを紹介し、パネルディスカッションで今後のDX社会のあり方を議論します。なお、研究者側からは、令和6年 能登半島地震での災害対応についても緊急報告がある予定です。

今回は、東京会場・大阪会場の2会場による同時開催、およびオンラインでの同時配信を行います。対面ではご都合がつかない方は、簡易的にはなりますが、オンライン配信でもご参加ください。皆様のご参加をお待ちしております。

お申込みはこちらから

<https://forms.gle/LD73msxobDHEJAzL7>



申込締切

2024
2/29 (木)

PROGRAM 総合司会：木村 玲欧氏 巨大災害研究会 会長 / 兵庫県立大学 環境人間学部・大学院環境人間学研究科 教授

開会 14:00 ~ 14:05 **オープニング**
(大阪会場) 木村 玲欧氏

14:05 ~ 14:10 **開会挨拶**
(東京会場) 遠藤 靖典氏 巨大災害研究会 副会長 / レジリエンス研究教育推進コンソーシアム 副会長 / 筑波大学 システム情報系 教授

第1部 14:10 ~ 14:50 **講演1 「防災・減災総合ソリューション事業の実現に向けて」**

(東京会場) 川谷 篤史氏 東京海上日動火災保険株式会社 dX 推進部 BD(ビジネスデザイン)室 マネージャー

14:50 ~ 15:30 **講演2 「『応急対応 DX』からガバナンスにアプローチする」**

(大阪会場) 永松 伸吾氏 関西大学社会安全学部 教授 / 防災科学技術研究所 災害過程研究部門 招へい研究員(部門長)

(東京会場) 折橋 祐希氏 防災科学技術研究所 災害過程研究部門 特別研究員

第2部 15:50 ~ 16:50 **パネルディスカッション「レジリエントなDX社会をつくる」** モデレーター：遠藤 靖典、木村 玲欧

川谷 篤史氏 / 永松 伸吾氏 / 折橋 祐希氏

(東京会場) 内山 庄一郎氏 防災科学技術研究所 マルチハザードリスク評価研究部門 主任専門研究員

(東京会場) 酒井 慎一氏 巨大災害研究会 副会長 / 東京大学大学院 情報学環・学際情報学府 教授

(大阪会場) 井ノ口 宗成氏 巨大災害研究会 事務局長 / 富山大学 都市デザイン学部 准教授 / 防災科学技術研究所 災害過程研究部門 主幹研究員

開会 16:50 ~ 17:00 **閉会挨拶**

(東京会場) 寶 馨氏 レジリエンス研究教育推進コンソーシアム 会長 / 防災科学技術研究所 理事長



東京海上日動火災保険株式会社
川谷 篤史氏



関西大学 教授
永松 伸吾氏



防災科学技術研究所
折橋 祐希氏



防災科学技術研究所
内山 庄一郎氏



東京大学 教授
酒井 慎一氏



富山大学 准教授
井ノ口 宗成氏

レジリエンス研究教育推進コンソーシアム第25回幹事会議事要旨

- 1 日時：令和5年12月11日（月）9時00分～9時45分
- 2 場所：オンライン（Web会議システム Zoom）
- 3 出席者：寶（会長）、甘利（副会長）、遠藤（副会長）、岡島、石濱
オブザーバー：林（東京海上日動）
陪席者：松室（防災科学技術研究所）、松本（〃）、倉谷（〃）、菊池（〃）、
大貫（筑波大学）、増田（〃）、酒井（〃）、根本（〃）

4 議事

I. レジリエンス研究教育推進コンソーシアムに係る事案

(1) 令和5年度年間活動計画について

遠藤副会長から、資料1に基づき今後の活動計画について説明があり、承認された。

- 2024年3月4日（月）12:30～13:00 第26回幹事会（筑波大学東京キャンパス会議室）
14:00～17:00 巨大災害研究会との合同シンポジウム（同上）
- 2024年3月6日（水）13:00～15:30 第16回運営委員会・見学会（NEC玉川事業場）
- R2EC就職説明会：日程の都合上から次年度に延期

(2) 令和6年度年間活動計画（案）について

遠藤副会長から、資料2に基づき次年度の活動計画について説明があり、承認された。

- 主な活動：R2EC就職説明会（仮称）、シンポジウム2回（単独1回、共同1回）
- 会議：総会1回、運営委員会2回、幹事会4回

（総会・運営委員会は見学会を兼ねて参画機関で実施）

また、林氏から見学会について次の情報共有があった。

- 東京海上日動においては事業紹介であれば対応可能と思われる（要調整）

(3) 巨大災害研究会・R2EC合同シンポジウム開催案について

遠藤副会長から、資料3-1～3-2に基づき開催案の説明があり、R2EC側の講演者について次の提案があり、併せて種々意見交換が行われた。

- 甘利副会長：「リスクの構造化」に関する話題であれば提供可能。
- 林氏：東京海上日動DX推進部の川谷部長（東京海上レジリエンス株式会社役員）に依頼することを提案。

(4) JST共創の場形成支援プログラム本格型申請完了について

遠藤副会長から次の報告があった。

- 11月15日（水）：本格型昇格審査 提案書一式を提出
- 1月7日（日）または8日（月祝）：面接審査（詳細未定）
- 1月下旬以降：審査結果通知

(5) 大日本印刷株式会社の退会について

遠藤副会長から、運営委員会のメール審議により 12 月 15 日付けの退会が承認された旨報告があった。

(6) その他

特になし

II. 筑波大学リスク・レジリエンス工学学位プログラムに係る事案

(1) R2EC リサーチ&キャリアラボ（仮称）開催案について

岡島委員および事務局から資料 4-1 に基づき開催案の説明があり、意見交換の結果、開催日を再検討することとなった。

(主な意見)

参画機関の参加について

- ・岡島委員：大学院のオープンキャンパス（4/21）にあわせると日曜開催となるが、参画機関の方々に参加いただくことは可能か。
- ・石濱委員：「つくば科学技術週間」と重なるため、つくば市内の参画機関の一般公開等と重ならないかも併せて確認いただきたい。
- ・寶会長：防災科研は 4/20（土）に一般公開を行う予定。日曜開催自体は問題ない。
- ・甘利副会長：セコムは本部の人事担当者とは相談する必要があるが、おそらく日曜開催は問題ない。
- ・林氏：東京海上日動の参加可否については川谷部長に相談いただいた方が確実。

学生の参加について

- ・石濱委員：オープンキャンパスと同時開催だと、主に進学しようとするプログラムの説明会に参加する学生が多く、参画機関の方々の説明会に参加してくれる学生数が読めない。目的を明らかにしたうえで比較的授業の少ない平日に設定し広報することで、多くの学生の参加が見込めるのではないか。
- ・岡島委員：いつ頃の開催が望ましいか、学内で引き続き検討する。

(2) 大学院教育改革フォーラム 2023 開催報告

岡島委員から、資料 5-1～5-2 に基づき、次の報告があった。

- 筑波大学主催の大学院教育改革フォーラム（12/1・2 開催）において協働大学院を紹介
- 学内外の産学連携プログラムと意見交換を行い、有益な意見を得た

(4) その他

特になし

以上

レジリエンス研究教育推進コンソーシアム第26回幹事会議事次第

- 1 日時： 令和6年3月4日（月）12時30分～13時30分
- 2 場所： 筑波大学東京キャンパス文京校舎 118 講義室
- 3 出席者： 寶（会長）、甘利（副会長）、遠藤（副会長）、岡島、石濱
オブザーバー： 林（東京海上日動）、川谷（〃）、柴崎（〃）
陪席者： 松室（防災科学技術研究所）、松本（〃）、小松原（セコム）、
大貫（筑波大学）、栗原（〃）、酒井（〃）、根本（〃）、本瀬（〃）、黒川（〃）
(敬称略)

4 議事

I. レジリエンス研究教育推進コンソーシアムに係る事案

- (1) 令和6年度年間活動計画（案）について……………資料1
- (2) コンソーシアムと筑波大生の交流企画について……………資料2
- (3) 巨大災害研究会・R2EC 合同シンポジウム開催について……………資料3-1~2
- (4) JST 共創の場形成支援プログラム本格型昇格審査結果について
- (5) その他

II. 筑波大学リスク・レジリエンス工学学位プログラムに係る事案

- (1) 令和6年度協働大学院教員及び非常勤講師について……………資料4-1~2
- (2) その他
 - ・学位プログラムオープンキャンパスの開催について（4月21日）
 - ・令和5年度 前後期課程入試・修了者報告（参画機関関係）

(配付資料)

資料1	令和6年度年間活動計画（案）……………	p.3
資料2	コンソーシアムと筑波大生の交流企画について……………	p.4
資料3-1	巨大災害研究会・R2EC 合同シンポジウム申込状況について……………	p.5
資料3-2	巨大災害研究会・R2EC 合同シンポジウムチラシ……………	p.6
資料4-1	令和6年度リスク・レジリエンス工学学位プログラム協働大学院教員一覧……………	p.7
資料4-2	令和6年度リスク・レジリエンス工学学位プログラム非常勤講師一覧……………	p.8

令和6年度 筑波大学リスク・レジリエンス工学学位プログラム 協働大学院教員一覧

整理 番号	ふりがな 氏名	所属先・職名	筑波大学職名 (任用年月日) (発令開始年月日)	大学院担当		
				新規継続の 別	研究指導 授業担当の別	担当科目(単位数)
1	あべ げんや 安部 原也	一般財団法人 日本自動車研究所 自動走行研究部 主任研究員	教授(協働大学院) (令和6年4月1日) (平成31年4月1日*)	継続	研究指導	ヒューマンファクター特論(1.0)ほか
2	うすだ ゆういちろう 臼田 裕一郎	国立研究開発法人 防災科学技術研究所 防災情報研究部門 部門長 ※総合防災情報センター長を兼務	教授(協働大学院) (令和6年4月1日) (平成31年4月1日*)	継続	研究指導	災害リスク・レジリエンス論(2.0)ほか
3	かとう かずひこ 加藤 和彦	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所 再生可能エネルギー研究センター 太陽光システムチーム 主任研究員	教授(協働大学院) (令和6年4月1日) (平成31年4月1日*)	継続	研究指導	リスク・レジリエンス工学修士特別研究I(2.0)ほか
4	さかい なおき 酒井 直樹	国立研究開発法人 防災科学技術研究所 水・土砂防災研究部門 副部門長 上席研究員 ※先端的研究施設利活用センター副センター長を兼務	教授(協働大学院) (令和6年4月1日) (平成31年4月1日*)	継続	研究指導	環境・エネルギー・安全工学概論(2.0)ほか
5	たはら きよたか 田原 聖隆	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 安全科学研究部門 IDEAラボ ラボ長	教授(協働大学院) (令和6年4月1日) (平成31年4月1日*)	継続	研究指導	災害リスク・レジリエンス論(2.0)ほか
6	ふじわら ひろゆき 藤原 広行	国立研究開発法人 防災科学技術研究所 研究主監 (兼)マルチハザードリスク評価研究部門長	教授(協働大学院) (令和6年4月1日) (平成31年4月1日*)	継続	研究指導	リスク・レジリエンス工学修士特別研究I(2.0)ほか
7	やまもと ひろみ 山本 博巳	一般財団法人 電力中央研究所 グリッドイノベーション研究本部 ENIC研究部門 上席研究員	教授(協働大学院) (令和6年4月1日) (平成31年4月1日*)	継続	研究指導	サイバーレジリエンス演習(1.0)ほか
8	おかべ こうへい 岡部 康平	独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 機械システム安全研究グループ 上席研究員	准教授(協働大学院) (令和6年4月1日) (平成31年4月1日**)	継続	研究指導	環境・エネルギー・安全工学概論(2.0)ほか
9	きたじま そう 北島 創	一般財団法人 日本自動車研究所 自動走行研究部 自動走行評価研究グループ グループ長	准教授(協働大学院) (令和6年4月1日) (令和5年5月1日)	継続	研究指導	ヒューマンファクター特論(1.0)ほか
10	さとう としひさ 佐藤 稔久	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 人間情報インタラクション研究部門 人間行動研究グループ (兼務 研究戦略企画部連携推進企画室) グループ付 (兼務 連携主幹)	准教授(協働大学院) (令和6年4月1日) (平成31年4月1日**)	継続	研究指導	災害リスク・レジリエンス論(2.0)ほか
11	しまおか まさき 島岡 政基	セコム株式会社 IS研究所 主任研究員	准教授(協働大学院) (令和6年4月1日) (平成31年4月1日**)	継続	研究指導	環境・エネルギー・安全工学概論(2.0)ほか
12	ずし やすゆき 頭士 泰之	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 安全科学研究部門 主任研究員	准教授(協働大学院) (令和6年4月1日) (令和4年3月1日)	継続	研究指導	環境・エネルギー・安全工学概論(2.0)ほか

* 平成31年4月1日～ 客員教授、令和2年4月1日～ 教授(協働大学院))

** 平成31年4月1日～ 客員准教授、令和2年4月1日～ 准教授(協働大学院)

令和6年度 筑波大学リスク・レジリエンス工学学位プログラム 非常勤講師一覧 (レジリエンス研究教育推進コンソーシアム参画機関)

(令和6年3月4日現在)

整理 番号	ふりがな 氏 名	所属先・職名	筑波大学職名 (任命日)	大学院担当	
				新規 継続 の別	担当科目(単位数)[担当時間数(h)]
1	あまり やすふみ 甘利 康文	セコム株式会社 IS研究所 リスクマネジメントグループ グループリーダー	非常勤講師 (令和6年4月1日)	継続	リスクと安心の科学哲学特論(1.0) [15] ※科目名変更
2	やぎゆう ともひこ 柳生 智彦	日本電気株式会社 セキュアシステムプラットフォーム研究所 主任研究員	非常勤講師 (令和6年4月1日)	継続	リスク・レジリエンス工学概論(1.0) [1.5]
3	アルザメリフサム ムスリム ハントウーシュ ALZAMILI HUSAM MUSLIM HANTOOSH	一般財団法人 日本自動車研究所 自動走行研究部 研究員	非常勤講師 (令和6年4月1日)	継続	ヒューマンファクター特論(1.0) [3]
4	あおやま ひさえ 青山 久枝	国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 電子航法研究所 航空交通管理領域 研究員	非常勤講師 (令和6年4月1日)	継続	リスク・レジリエンス工学概論(1.0) [1.5]
5	ふくしま さちこ 福島 幸子	国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 電子航法研究所 航空交通管理領域 領域長	非常勤講師 (令和6年4月1日)	継続	リスク・レジリエンス工学概論(1.0) [1.5]
6	あおい しん 青井 真	国立研究開発法人 防災科学技術研究所 地震津波火山ネットワークセンター センター長	非常勤講師 (令和6年4月1日)	継続	災害リスク・レジリエンス論(2.0) [3]
7	いづか さとし 飯塚 聡	国立研究開発法人 防災科学技術研究所 水・土砂防災研究部門 上席研究員	非常勤講師 (令和6年4月1日)	継続	災害リスク・レジリエンス論(2.0) [3]
8	ふじた えいすけ 藤田 英輔	国立研究開発法人 防災科学技術研究所 火山防災研究部門 総括主任研究員	非常勤講師 (令和6年4月1日)	継続	災害リスク・レジリエンス論(2.0) [3]
9	まえだ たかひろ 前田 宜浩	国立研究開発法人 防災科学技術研究所 マルチハザードリスク評価研究部門 主任研究員	非常勤講師 (令和6年4月1日)	継続	災害リスク・レジリエンス論(2.0) [3]
10	やまぐち さとる 山口 悟	国立研究開発法人 防災科学技術研究所 雪氷防災研究部門 上席研究員	非常勤講師 (令和6年4月1日)	継続	災害リスク・レジリエンス論(2.0) [3]
11	うたがわ まなぶ 歌川 学	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 エネルギー・環境領域 安全科学研究部門 持続可能システム評価研究グループ 主任研究員	非常勤講師 (令和6年4月1日)	継続	環境・エネルギー・安全工学概論(2.0) [6]
12	ましろ げんがく 真城 源学	一般財団法人 DRIジャパン 理事 (株式会社東急総合研究所 研究部 主任研究員)	非常勤講師 (令和6年4月1日)	継続	レジリエンス社会へ向けての事業継続管理(2.0)[30]



RESILIENCE

世の中を、**リスク**で診る。
レジリエンスで、未来を看る。

RISK



リスク・レジリエンス工学 学位プログラム
Master's/Doctoral Program in Risk and Resilience Engineering

あなたの個人情報はスマホ経由で全世界へとつながれ、
あなたの暮らしは、道路・水道・電気・ガスなどのライフライン頼み。

あなたの家は約 2,000 以上の活断層が走る地震列島に建ち、
その日本は、大きな環境問題を抱える、地球という惑星の一部です。

現代社会にひそむ無数の「リスク」。

有事からしなやかに復旧するための「レジリエンス」。

時代が待望するこの分野で学び、自らの手で、未来を創り出してみませんか？

筑波大学大学院 理工情報生命学術院 システム情報工学研究群
リスク・レジリエンス工学学位プログラム
オープンキャンパス

2024. **4/21** 日

場所：総合研究棟 B 7・8 階

一部、オンライン中継を予定しております。詳しくはHPをご覧ください。

<https://www.risk.tsukuba.ac.jp/>

リスク・レジリエンス工学 検索